

みんなの知りたい！ なんでも Q&A



茨木学芸員

みんなは最近海に行ったかな？ 夏以外の季節の海でも、いろいろな楽しみ方があるんだよ。そんな中で紹介したいのが「漂着物（ひょうちやくぶつ）」を拾うこと。どんなふう
に楽しむのか、紹介していくね。



Q.漂着物って、どういうものがあるのですか？



A 海岸を歩いていると、砂浜などに貝殻（かいがら）やヤシの実などが落ちて
いることがあるよね？ こういった海岸に打ち寄せられている物を漂着物と呼
んでいるんだよ。浜辺では、海のものはもちろん、山のものや町のものや、時
には外国からの漂着物に出会うこともあるんだよ。まるで浜辺は、博物館のよ
うにいろいろな物がある場所なんだね。

最近では、浜辺の漂着物について、科学的に研究する漂着物学や、趣味で漂
着物を拾い集める「ビーチコーミング」がとっても盛んに行われていて、徳島
県内でも多くの漂着物研究者やビーチコーミング愛好家が活動しているんだ。



浜辺の漂着物について
さらに詳しく知りたい
人は…

『海からどんぶらこー浜辺の
漂着物一』（日本財団助成）

2012年4月27日～6月10日まで
徳島県立博物館 企画展示室
入場無料です。



何かおもしろいものが落ちて
いないかな？



今週のテーマは

漂着物

文：徳島県立博物館・茨木靖学芸員
絵・デザイン：徳島新聞写真美術部・大塚吉雄



浜辺に打ち上げられたアオイガイの殻
(福岡県北九州市の海岸)

Q.ビーチコーミングをするには
どうすればいいですか？

A

ビーチコーミングをするのはとっても簡単だよ。浜辺をぶらぶら歩いて、気にな
った物を拾ってあげればいいんだ。だけど、ちょっとしたコツがあるんだよ。まず、
浜辺に行くのは、春から秋までがいいね。とくに台風などで浜辺に向かって風が吹
いた後がいいんだ。小石の浜よりは砂浜を歩く方が物を見つけやすいね。気に入
った物があったら、持ち帰って水で洗うといいよ。あとは、貝や種子などをコレクシ
ョンしたり、名前を図鑑で調べたり、どこから来たのかなあと考えたりして楽しめ
ばいいんだ。



Q.めずらしい漂着物には
どんなものがありますか？



A

そうだね、いろいろな
ものがあるんだけど、最
近でいえば鳴門でオウム
ガイが拾えたよ。オウム
ガイは、中生代に栄えた
アンモナイトに似た殻を
持つ生き物で、生きて
いる化石とも呼ばれて
いるんだ。フィリピンや
オーストラリアなどの
珊瑚礁（さんごしょう）
にすんでいるんだけど、
海流で運ばれて日本ま
で流れ着くこともある
んだ。ビーチコーミン
グの“お宝”のひとつ
といわれているよ。ち
なみに、鳴門でオウム
ガイを拾ったのは、北
海道在住の鈴木明彦さ
ん。幸運にもたまたま
立ち寄った鳴門の海岸
でオウムガイを拾った
んだって。他にもとて
も珍しいウミアメンボ
や、パプアニューギニ
アなどに生えるパプア
ブラギリなどが見つか
っているよ。



オウムガイの殻まであるんだね。
探しにいつてみようかな。



鳴門に漂着したオウムガイ
(撮影：鈴木明彦氏)



漂着したココヤシで作ったランプシェード
(制作・撮影：濱直大氏)



コラム

ビーチクラフトを楽しもう！

漂着物の楽しみ方は、コレクションしたり、本で調べたりするだけではないよ。海の思
い出と一緒に持ち帰ってきた漂着物たちを使って、自分だけの作品をつくってみよう。波
にもまれて長い旅をしてきた浜辺の流木。色とりどりの貝殻たち。波に洗われて丸くな
ったガラスの破片。こうしたものを組み合わせたり、ガラスのかけらを重ねたりして、ラ
ンプシェードや額縁をつくったりしてみたら自分だけのすてきな作品ができるよ。

